

2025年度
助産別科
入学者選抜問題
母性看護学

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※各問題に解答の数を示しています。それ以外の答えの数をマークしても正解にはなりません。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

受験番号				氏名	
------	--	--	--	----	--

【問題1】 生殖生理学に關与する臓器とホルモンの概要を図1に示す。正のフィードバックに相当するのはどれか。1つ選べ。

1. ①が増えると②が増える
2. ②が減ると③が増える
3. ②が減ると④が増える
4. ③が増えると①が増える

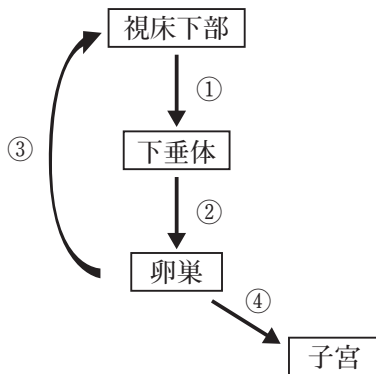


図1

【問題2】 血液の pH 調節に關わっているのはどれか。1つ選べ。

1. 胃
2. 肝 臓
3. 心 臓
4. 腎 臓

【問題3】 脂溶性ホルモンはどれか。1つ選べ。

1. GH (成長ホルモン)
2. FSH (卵胞刺激ホルモン)
3. LH (黄体形成ホルモン)
4. サイロキシン (甲状腺ホルモン)

【問題4】 耐糖能とはどのような状態を示す語か。1つ選べ。

1. 血糖値が低くなった時に耐えられる
2. 血糖値が高くなった時に下げる能力がある
3. ブドウ糖にアレルギーをおこさない
4. 一度に大量の食事をしても消化吸収できる

【問題5】 腎臓における尿の生成について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. ネフロンは尿生成の単位で腎小体（糸球体と Bowman 嚢）と尿細管から成る
2. 糸球体の毛細血管から Bowman 嚢に血液がそのまま放出され原尿となる
3. 原尿中の水分は Bowman 嚢で再吸収される
4. 原尿中の有効物質も Bowman 嚢で再吸収される

【問題6】 貧血の定義として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 血圧が低下すること
2. 脈拍数が速くなること
3. 循環血液量が減少していること
4. ヘモグロビン濃度が減少していること

【問題7】 無痛分娩に際して硬膜外カテーテルを挿入している時に、産婦の心電図モニターが警報音を発した。まず行う対応として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 頸動脈の拍動を確認する
2. 警報音の設定範囲を変更する
3. 心電図モニターの電極の位置を移動する
4. 心電図のスイッチを一度切ってから 10 秒後に入れ直す

【問題8】 血中カルシウム濃度を上昇させるホルモンを分泌する器官はどれか。1つ選べ。

1. 副腎
2. 下垂体
3. 甲状腺
4. 副甲状腺

【問題9】 産婦人科の内診は通常どの体位で行うか。1つ選べ。

1. 仰臥位
2. 碎石位
3. 側臥位
4. 半坐位

【問題10】 Aさん(39歳、初産婦)。妊娠30週から切迫早産で入院しベッド上での安静臥床を続けていた。妊娠36週に子宮収縮抑制困難と判断され、骨盤位のため帝王切開術を施行された。術前には血栓症の発生を示唆する所見はなかった。周術期の対応として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 下肢に弾性ストッキングを装着する
2. 術後4日目から歩行を開始する
3. 術後5日目から飲水を開始する
4. 術後7日目から食事を開始する

【問題11】 初産婦における分娩の前駆症状と判断できるのはどれか。1つ選べ。

1. 胎動の活発化
2. 羊水量の増加
3. 胎盤の膨隆化
4. 子宮頸管の熟化

【問題12】 正常妊娠において拍動しているのはどれか。1つ選べ。

1. 卵膜
2. 臍帯動脈
3. 臍帯静脈
4. 子宮静脈

次の文を読み、[問題13] [問題14] [問題15] に答えなさい。

Aさん(24歳、女性)。5日前からの嘔気と嘔吐を主訴に来院した。症状は早朝と空腹時に悪化するが、下痢や腹痛はないという。月経周期は28～40日型で不規則。最終月経は7週間前から5日間。意識は清明。身長162cm、体重49kg。体温36.8℃。脈拍72/分、整。血圧102/68mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、圧痛や反跳痛を認めない。血液所見と血液生化学所見とに異常を認めない。

[問題13] まず行う検査として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 妊娠反応
2. 頭部単純MRI
3. 平衡機能検査
4. 上部消化管内視鏡検査

[問題14] 嘔気と嘔吐が改善しないため4日後に再受診した。超音波検査で子宮内に胎嚢を認めた。尿所見：蛋白(－)、糖(－)、ケトン体(3+)。代謝によりケトン体が産生されるのはどれか。1つ選べ。

1. 葉酸
2. 脂肪酸
3. アミノ酸
4. ブドウ糖

[問題15] 手甲の皮膚をつまんでも元に戻るまで3秒かかった。臥位になっても外頸静脈が怒張しない。今後Aさんが最も注意すべきことは何か。1つ選べ。

1. 高血圧
2. 萎縮性胃炎
3. 感染性腸炎
4. 深部静脈血栓症

【問題16】 性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律で戸籍上の性別の取り扱いの変更の審判ができる条件に該当するのはどれか。1つ選べ。

1. 18歳以上であること
2. 現に子がないこと
3. 生殖腺を有していること
4. 現に婚姻していないこと

【問題17】 在日外国人母子が利用できる支援について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 在留資格がある在日外国人母子に対し母子保健サービスが提供される
2. 在日外国人に対して妊産婦健康診査の費用助成が行われている
3. 在日外国人の子に対して乳幼児健康診査が行われている
4. 在日外国人の子の医療助成制度に予防接種が含まれる

【問題18】 健やか親子21（第2次）における重点課題はどれか。2つ選べ。

1. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援
2. 少子化危機突破のための緊急対策
3. 妊娠期からの児童虐待防止対策
4. ワークライフ・バランスの実現
5. 新エンゼルプランの策定

【問題19】 2019（令和元）年の死産について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 自然死産のうち満24週未満までのものが90%以上である
2. 自然死産率を母の年齢で見ると25～29歳が最も低い
3. 人工死産率を母の年齢で見ると40～44歳が最も高い
4. 人工死産は満12～15週が50%以上である

【問題20】 周産期医療施設の種類で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 一次医療施設 —— 助産所
2. 二次医療施設 —— 診療所（産婦人科）
3. 三次医療施設 —— 総合周産期母子医療センター
4. 四次医療施設 —— 地域周産期母子医療センター

[問題21] 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）で、親の虐待によって負傷した児童を発見した際の通告先として規定されているのはどれか。2つ選べ。

1. 警察署
2. 保健所
3. 児童相談所
4. 家庭裁判所
5. 福祉事務所

[問題22] 労働基準法で規定されている育児時間について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 1日あたり4回まで取得できる
2. 1回の時間は少なくとも30分である
3. 児が満3歳になるまでの期間に取得できる
4. 使用者は事前命令で育児時間中にその女性を使用して良い

[問題23] 母体保護法の規定で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 不妊治療
2. 不妊手術
3. 健康診査
4. 養育医療

[問題24] 子宮頸がんについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 出産経験の少ない女性に多い
2. 進行期の分類はI期からIV期と分類する
3. 好発年齢は50～60歳代である
4. 組織学的には扁平上皮がんが多い
5. 子宮体がんとうつ宮頸がんの比率は1：20である

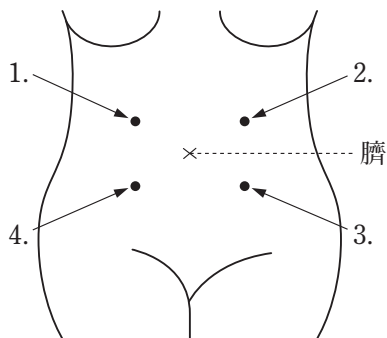
[問題29] Aさん(28歳、初産婦)は、妊娠11週。身長160cm、体重58kg(非妊時体重50kg)。現在は身体活動レベルⅠ(非常時は身体活動レベルⅡ)で妊娠経過は順調である。
現在点で非常時と比べて食事に付加することが望ましいのはどれか。1つ選べ。

1. 糖 質
2. 葉 酸
3. 蛋白質
4. カリウム
5. カルシウム

[問題30] 正常な児頭回旋運動の組み合わせで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 第1回旋 ——— 伸 展
2. 第2回旋 ——— 内回旋
3. 第3回旋 ——— 外回旋
4. 第4回旋 ——— 屈 曲

[問題31] 妊娠37週、第2頭位の妊婦。胎児心音の聴取部位を図に示す。最も適切な聴取部位はどこか。
1つ選べ。



1. 1
2. 2
3. 3
4. 4

[問題32] 妊娠 35 週の妊婦が仰臥位をとり続けていたとき、急に気分不快を訴えた。その時の対応で適切なものはどれか。2 つ選べ。

1. 酸素投与
2. 血圧の測定
3. AED の準備
4. 点滴静脈内注射の準備
5. 左側臥位への体位変換

[問題33] 妊娠 32 週 0 日の妊婦。身長 162.0 cm、体重 58.0 kg（非妊時 52.0 kg）、子宮底長 30.0 cm、腹囲 87.0 cm、血圧 128/80 mmHg。尿蛋白（±）、尿糖（-）、浮腫（-）。「膝の裏の血管が膨らんで青く浮き出てきました。」と話す。保健指導で適切なものはどれか。2 つ選べ。

1. 体重を減らす
2. ガードルを着用する
3. 就寝時に下肢を挙上する
4. カルシウムを多く摂取する
5. 弾性ストッキングを着用する

[問題34] 子宮弛緩症の原因でないのはどれか。2 つ選べ。

1. 墜落産
2. 巨大児
3. 羊水過少
4. 前期破水
5. 子宮筋腫の合併

[問題35] 妊娠期の栄養について適切なものはどれか。1 つ選べ。

1. 鉄の付加量は授乳期よりも少ない
2. 塩分摂取量は 10 g/日を目標とする
3. 葉酸は妊娠初期の摂取が重要である
4. エネルギーは妊娠中期の付加量が最も多い
5. カルシウムは 20 歳代女性の平均摂取量の約 3 倍の摂取が望ましい

【問題36】 新生児の熱喪失経路とその予防の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 対 流 —— インファントウォーマーを使用する
2. 伝 導 —— 窓から離れた場所に寝かせる
3. 輻 射 —— 温めた衣類を使用する
4. 蒸 散 —— 湿度 50 ～ 60% に保つ

【問題37】 母乳のみで育てたいと希望している産褥 5 日の褥婦。母乳分泌不足が疑われる情報はどれか。1 つ選べ。

1. 授乳に 10 分程度要す
2. 乳首を離すと児が泣く
3. 授乳中に児が嚙下する音が聞こえる
4. 児の排便が粒々の混じった黄色便である

【問題38】 日本蘇生協議会による新生児の出生直後の最初の判定項目でないのはどれか。1 つ選べ。

1. 啼 泣
2. 体 温
3. 弱い呼吸
4. 筋緊張低下

【問題39】 新生児の 1 日のエネルギー所要量（体重 1 キログラム当たり）で正しいのはどれか。1 つ選べ。

1. 40 ～ 60
2. 80 ～ 100
3. 120 ～ 140
4. 160 ～ 180
5. 200 ～ 220

【問題40】 産後1か月健診。母児共に身体的な経過は良好である。褥婦は、自宅で夫と児と3人の生活である。周りに知り合いが少なく、夫の帰宅も遅いため、育児はほとんど1人で行っている。表情は暗く、会話時に視線が合わない。児が泣いていても児の方を向かず、「赤ちゃんがなぜ泣いているかわかりません。育児する自信がない」と話す。

褥婦への看護で適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. エジンバラ産後うつ病調査票でスクリーニングする
2. 地域の保健師に継続支援を依頼する
3. 実家の支援が得られないか確認する
4. 育児は大変だが頑張るよう話す

【問題41】 妊娠糖尿病の母体・胎児・新生児合併症について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 羊水過少
2. 胎児の先天奇形
3. 新生児の高血糖
4. 新生児の高カルシウム血症

【問題42】 在胎39週2日、自然分娩で出生した児。出生直後は啼泣せず、全身チアノーゼを呈していたが、鼻腔吸引刺激により啼泣した。出生後1分には元気よく啼泣し、心拍数148回/分、呼吸数38回/分、四肢を活発に動かし、体幹はピンク色で手掌と足底にはチアノーゼがみられていた。

児のアプガースコアは何点か。1つ選べ。

1. 7点
2. 8点
3. 9点
4. 10点

次の文を読み、[問題43] [問題44] [問題45] に答えなさい。

30歳の初産婦。41週4日、自宅で破水し来院した。来院時、「病院に着いてからお腹が時々痛むようになった。」と話す。入院時のバイタルサインは体温36.6℃、脈拍72回/分、血圧120/70 mmHg、胎児心拍の最良聴取部位は母体右下腹部である。内診にて、子宮口は2 cm開大しており、淡緑色の羊水流出がみられた。分娩監視装置を装着したところ、陣痛周期8分、胎児心拍数基線120 bpm、軽度の変動一過性徐脈がみられた。

[問題43] 入院時のアセスメントで適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 過期産である
2. 前期破水である
3. 分娩第2期である
4. 胎児は第1頭位である

[問題44] この産婦への対応で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 右側臥位にする
2. 酸素投与を行う
3. 緊急帝王切開術の準備を行う
4. 分娩監視装置による連続胎児心拍モニタリングを行う

[問題45] 入院から14時間経過。子宮口8 cm開大、Station±0、羊水流出なし、陣痛周期は3～4分、陣痛発作40～50秒、胎児心拍数は140 bpmである。産婦は「いつになったら生まれるの。もう疲れた。痛くて耐えられない。早く生まれてほしい。」と泣いている。
この産婦への援助で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 陣痛発作時に努責させる
2. 眠れるように訪室を控える
3. アクティブチェアに座るよう勧める
4. 三陰交（内踝の上4横指）を圧迫する
5. 「母親なのだから弱音を吐かずに頑張りましょう」と励ます

